

「不易」と「流行」 誠実・克己・忠恕

～リーダーシップが発揮される「真摯さ」とは・・・～

久しぶりに・・・マネジメントという概念を説いたドラッカーです。

「真摯さはごまかせない！」

とドラッカーは言います。また・・・

「真摯さを定義することは難しい」とも言います。

真摯さ＝integrityと同じ語源を持つ言葉にintegration（統合）があります。
つまり integrity は様々な要素が統合された概念であるといえます



「いかに知識があり、聡明であって、上手に仕事をこなしても、真摯さに欠ける者は組織を破壊する。組織にとって最も重要な資源である人を破壊する。」（『マネジメント』）

残念ながら今年も有名組織の不祥事が世間の注目を集めました。不正行為を知らずながら沈黙を続けるトップの姿、そこで働く者たちが壊れていく姿がありました。

リーダーに必要な「真摯さ」について、哲学者森信三先生の言葉が一つの方向性を示しているように思います。

「人間の長所短所の問題について、私の考えでは、知識・技能といった、いわば外面的な事柄については、一般的に短所を補うというよりも長所を伸ばすほうが、よくはないかという考えなのです。これに反して、自分の性格という内面的な問題になりますと、長所を伸ばそうとするよりも、むしろまず欠点矯正することから始めるのがよくはないかと思えます。」

知識や技能という外面的な事柄は、これを伸ばして組織や社会に貢献することができます。加えて、自己実現を果たす能力が、次の5つの習慣的能力です。

- ① 時間を管理し、時間を創造する。
- ② 貢献に焦点を合わせる
- ③ 自他の強みを生かす
- ④ 最も重要なことに集中する
- ⑤ 成果が上がる意思決定をする

組織社会では、人の強み（資質）は伸ばすべき領域に属します。

「わずか数十年前までは・・・自らの強みを知っていても意味がなかった。それは生まれながらにして、仕事も職業も決まっていた。」

「ところが今日では、選択の自由がある。したがって、自らが属するところがどこであるかを知るために、自らの強みを知ることが必要になってくる。」

「致知」10月号 ドラッカーの教え ドラッカー学会代表理事 佐藤 等

確かに、日本にも生まれながらにして仕事も職業も決まっていた時代がありました。現代では選択する、できる自由があります。

「自分の強みを見つけるために、知るために、伸ばすために。そして、自分の強みをどこで、どうやって組織や社会に貢献させるか」を探すための高校生活になればと思います。

また、この県高での高校生活。約 900 人の集団生活で、内なる自分と対話し、内面的な部分においては、欠けているもの（短所）と向き合って欲しいとも思います。

学習・学校行事・部活動に全力で取り組み、「個性は伸ばし、人格は磨く。」そんな県高生活になればと思います。